学校番号	416

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	子どもの発達と保育　　育つ　育てる　育ち合う　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プリントと教科書を用い、講義形式を中心に授業を行う。将来の保育者を目指すべく積極的に学習に取り組む。学習指導要領改訂を見据えて主体的・対話的な学習を導入し、更なる学習内容の進化をめざす。
また、乳幼児の簡単な被服製作や調理実習などを行う。

2　学習の到達目標

将来の保育者を目指すべく子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に必要な能力と態度を育てる。

子どもの生活の営みに関わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、自分自身が中心となり身近な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程､保育などについて興味・関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、子どもの発達や子育て支援に必要な実践的な態度を身に付けている。	保育や子育て支援などについての充実向上を図るための課題を見出し、その解決の為に思考・工夫し、適切に判断する能力を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	授業観察、プリント、定期考査等	授業観察、プリント、定期考査等	授業観察、プリント、作品評価、定期考査等	授業観察、プリント、定期考査等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期末考査まで	子どもの発達の特性	○発達と保育環境 ○児童観と発達観		○			b:保育環境について課題を見出し、考え、判断する姿がみられる b:児童観についての課題を見出し、考え、判断する姿がみられる	授業観察 プリント レポート
	子どもの発達の過程	○胎児の発育・発達 ○乳幼児の特徴 ○乳幼児期の発達 ○人間関係の発達	○			○	d:　胎児の発育の学習内容に関する知識を身に付けている a:乳幼児の発達に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている d:乳幼児の特徴の学習内容に関する知識を身に付けている d:乳幼児期の発達の学習内容に関する知識を身に付けている d:人間関係の発達の学習内容に関する知識を身に付けている	授業観察 プリント レポート 定期考査
二学期末考査まで	子どもの生活	○子どもの食事 ◎離乳食・幼児食の調理実習 ○子どもの衣服 ◎乳幼児の被服製作 ○子どもの生活習慣 ○子どもの遊び ○子どもの健康管理	○	○	○	○	d:子どもの食事の学習内容に関する知識を身に付けている a:調理実習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている c:乳幼児の被服製作に関する技術を身に付けている d:子どもの生活習慣の学習内容に関する知識を身に付けている d:子どもの遊びの学習内容に関する知識を身に付けている b:子どもの健康管理の学習内容について、課題を見出し、考え、判断する姿が見られる	授業観察 プリント レポート 作品評価 定期考査

学年末考査まで	子どもの保育	○保育の意義 ○家庭保育と集団保育		○		○	b:保育の意義について、課題を見出し、考え、判断する姿が見られる d:家庭保育と集団保育の学習内容に関する知識を身に付けている	授業観察 プリント レポート 定期考査
学年末考査まで	子どもの福祉	○児童福祉の理念と法律・施設 ○子育て支援			○	○	d:児童福祉の理念と法律の学習内容に関する知識を身に付けている c:子育て支援の学習内容に関する技術を身に付けている	授業観察 プリント レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。